

議会のインターネット放映は時代の要請です

本会議を生中継と録画で

ねらいと効果

議会は何をやっているのかわからない等の批判を受け、「開かれた議会」「説明責任を果たす議会」への要請は、今もって強いものがあります。これに対し、深谷市議会は、今後なるべく早期に、「インターネットによる議会のライブ中継、録画配信を始めるべきである」との合意形成ができ、第二次要望に盛り込み、現在執行部と調整中があります。

市民の方々は、議会傍聴でもしない限り、実際の議会風景をみる事が出来ない状況にあります。それが録画とはいえ、直接見ることができるようになることは、「開かれた議会」へ向けて大きく前進するものと確信いたします。



インターネット放映の基本的事項

1. 配信の範囲 定例会・臨時会
2. 配信の方法 インターネットによる配信
Windows Media Playerで再生
3. 配信の内容 録画放映・ライブ中継の両方
4. 開始時期 早期に実施を要望
5. 配信時期 会議終了後3日程度後から
6. 映像編集 本会議…1日単位
一般質問…議員単位
7. 検索機能 会議名・議員名・会派名・用語等による検索機能

●配信開始は6月定例議会以降

映像配信システム導入により、議場内の整備に日時を要するため、配信開始は、6月議会以降と見込まれます。

こんな課題の改革協議が進んでいます

番号	検討事項	区分	主な検討の視点
1	議員全員協議会	継続	・役割の明確化 ・規定の制定
2	予算特別委員会	継続	・設置の是非 ・委員構成
3	審議会等への議員参加	新規	・就任の是非
4	請願の審査方法	新規	・請願者の出席 ・詳細説明等
5	常任委員会等のあり方	新規	・規則等の見直し
6	政務調査費	新規	・使途公開 ・支給方法

※議会改革検討委員会は、傍聴できます。希望される方は、開催日時を議会事務局 048(574)6662までお問い合わせください。

自主的に返還 政務調査費から生じる利子

議会の会派に対し支給されている政務調査費。この保管中に発生する預金利子（議会全体で年間数千円程度）の扱いについては、法的な規定はありませんが、自主的に返還することに決定しました。

これに関する条例改革案を、12月定例会において議員提案し、全会一致で可決しました。

議会改革 今後の動き

改革検討委員会は、第三次として次表に示す課題について協議を進めています。

議員研修会を開催予定

来る、2月15日。深谷市議員クラブ主催による、「議会改革」をテーマとした議員研修会を開催する予定です。
講師は、法政大学法学部 教授 廣瀬克哉氏

議会改革が目指すものとは

議会改革検討委員会

委員長 田島信吉

現行の議会制度のもとで、自治体における二元代表制は十分機能しているとは言いがたい。時流は、真に自立した「地方政治」の確立を指向しているが、市民生活に最も身近な市議会が旧態依然の役割で満足しているのは市民の負託にこたえることができない。行政に市民意識を最大限反映させる議会機能を構築することが要求されている。議会改革は、「市民の市政参画への途」を開くものと信じ、今後とも地方自治制度の動向に注視しながら、議員の多様な意見を結集して強力に改革を推し進める。

ふかや市議会だより(第17号 平成22年2月1日発行)

小森 秀夫

田嶋 均

今までも、これからも議会改革を進めていきます。

市民に信頼される議会にするため、私たち議員は初心に戻りマニフェストに沿った活動をすべきです。

栗原 征雄

今村 三治

「改革」により議会や議員の役割を明確にし、市民の負託にこたえられるよう頑張ります。

「改革」は一步一步前進!

倉上 由朗

橋本 設世

市民の負託にこたえられるよう、議会人として信頼される議会をつくり上げていきたい。

地方分権一括法の施行で地方議会の役割は増した。市民に開かれたより機能的な議会を目指す。

宇多村春恵

今井 俊雄

市民一人ひとりの豊かな生活を目指し、税金を公平に享受できる市政を目指します。

行政・議会は常に時代の変化に対応しなければならぬ。そのために議会改革が必要である。

加藤 温子

須藤 邦男

議会改革は情報公開と議員の意識改革が大事。一層の精進と誠意をもって議会活動に当たります。

議会と執行部との緊張感を保ち、充実した能率的な議会運営を図り、市民の期待にこたえる。



新井 清

飯野 広

市民の真意が反映される議会。権威ある議会でありたい。

権限や地位による影響力や不正行が防止できるよう、自主的な政治倫理条例の制定をすべき。

松本 政義

永田 勝彦

明日の深谷をつくるため、議員本来の役割を発揮し、当たり前前の役割が果たせる議会へ。

議会は時の移ろいの中、旧態依然としてはいけない。この際市民目線に合致する改革を断行する。

中村 和男

吉岡 信彦

市民の負託にこたえる議会をつくる改革は必要。市民のための議会、市民のための政治。

ようやく議会のあるべき姿への動きが始まりました。今後も、限りなく理想を追求してまいります。